書式２

教 育 研 究 業 績 書

平成 30 年 5 月 1 日
氏名　　山 村 穂 高　　印

研究分野	研究内容のキーワード
心理学　ソーシャルスキルズトレーニング	犯罪心理学　ＳＳＴ

教育上の能力に関する事項

事　　項	年 月 日	概　　要
1. 作成した教科書、教材	平成 25 年 12 月 平成 28 年 7 月	Natural 保育検定 テキスト 山村学園短期大学ポートフォリオ
2. 教育上の能力に関する大学等の評価		法務省矯正局法務技官調査専門官として川越少年刑務所分類審議室に勤務し、犯罪者の人格や人格と犯罪との関連性、今後の処遇などについて調査し、犯罪性の判定を行った。
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記なし。
4. その他		特記なし。

職務上の実績に関する事項

事　　項	年 月 日	概　　要
1. 資格、免許		特記なし。
2. 特許等		なし。
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記なし。
4. その他 競争的資金等の研究	平成 24 年 4 月	科学研究費助成事業・基盤研究（C）【課題番号 24530773】　研究課題：「社会資源を活用した町型子ども･子育て支援ネットワークのあり方に関する研究」 研究代表：鈴木孝子、共同研究者：橋本淳一、村石理恵子、羽岡佳子、山村穂高

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
（著書）				
（学術論文等）	共著	平成 30 年 3 月	山村学園短期大学紀要第 28 号･増刊号	平成 17 年に発達障害者支援法が施行されて以来、障害の早期発見・早期療育、教育・就労などにおける支援システムの確立が目指されてきたが、乳幼児健診や就学時健診では診断が確定できないケースも多くあり、いわゆる「気になる子」がクローズアップされてきた。中でも気になる子の保護者への対応は、幼稚園、保育園の保育者にとって非常に難しい課題となっている。本研究ではそれらの先行研究を調べ、気になる子の特徴、気になる子の保護者への対応の難しさとその要因、保育者と保護者の協働のプロセスなどをまとめ、保育現場で活用できる具体的な言葉がけについて考察した。（pp：１～15） 著者：山村穂高、卯月早帆
（その他） 1「社会資源を活用した町型子ども･子育て支援ネットワークのあり方に関する研究報告書１－平成 24 年度グループインタビュー調査報告書－」	共著	平成 25 年 3 月	平成 24～26 年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）課題番号 24530773	地域の子育て支援に関し、利用者、提供者、利用者兼提供者（市民活動）に分けて、グループインタビュー法を用いて行った質的調査の結果をまとめた。(研究代表：鈴木孝子、研究分担者：橋本淳一、村石理恵子、羽岡佳子、山村穂高）
2「社会資源を活用した町型子ども･子育て支援ネットワークのあり方	共著	平成 26 年 3 月	平成 24～26 年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）課題番号 24530773	地域における、子どもの遊びの実態や保護者の子ども･子育て観や価値意識、保健医療、福祉・教育、市民・地域活動などの社会環境や自然環境に関す

に関する研究報告書 2－平成25年度数量調査報告書－」				る人々の考えなど、数量調査の単純集計結果から報告した。(研究代表：:鈴木孝子、研究分担者:橋本淳一、村石理恵子、山村穂高)
3「社会資源を活用した町型子ども･子育て支援ネットワークのあり方に関する研究－研究成果報告書－」	共著	平成27年3月	平成 24～26 年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）課題番号 24530773	地域を基盤とした自然や社会環境を活かした町型の子ども･子育てのシステムやネットワークの構築に関するいくつかの知見を、グループインタビューによる質的調査、アンケートによる数量調査の結果を踏まえ、研究成果として報告した。(研究代表：:鈴木孝子、研究分担者：:橋本淳一、村石理恵子、山村穂高)